



# 聖誕記念聖日礼拝

今週のみことば

司会者 渡邊貞雄師 奏楽者 渡邊頼子師

|                    |              |       |
|--------------------|--------------|-------|
| 讃美新 80 天なる神には      | —            | 同     |
| 主の祈り               | —            | 同     |
| 讃美イ 405 み位をもみかむりをも | —            | 同     |
| 交読詩 篇 103 : 1~14   | —            | 同     |
| 祈禱                 | 司            | 会     |
| 報告                 | 司            | 会     |
| 聖書                 | マタイ 2 : 1~12 | 司会者   |
| 説教                 | 「東方の博士たち」    | 渡邊貞雄師 |
| 献金新 77 きよしこの夜      | 小坂栄子姉        |       |
| 頌栄新 63 父、御子、御霊の    | (起立) 一同      |       |
| 天軍讃歌               | (起立) 一同      |       |

それから家に入り、母マリアとともにいる幼子を見、ひれ伏して礼拝した。そして宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。

マタイ二・一一



受 = 山口 姉 / 操 = 中西 兄 / A = 福田 姉 / 報 = 牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会  
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊 貞雄  
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊 頼子

2022年12月25日 VOL. 46-52 No. 2408 URL <http://matukyo.com/>  
 Email [sadao@mctv.ne.jp](mailto:sadao@mctv.ne.jp)

## ご報告・消息欄

- ▼ 本日は救い主イエスのご降誕を祝う「聖誕記念礼拝」となります。
- ▼ 来年1月の教会「奉仕者表」が出ました。ご協力をよろしく。
- ▼ 来聖日の1月1日(日)は「新年元旦(聖日)礼拝」がもたれます。
  - 日時 1月1日(日) 午後1:30~2:45
  - 主題 乗り越える!(+) (プラス)
  - 聖書 創世記49:22、他
- ▼ 今週の祈禱会(28日)と清掃

- 奉仕(31日)はお休みとなります。
- ▼ 新しい年にあたって各自でも、年頭のみことばを頂き(握り)ましょう。1年の力ある踏み出しがなされますように祈ります!
- ▼ 来週の礼拝用テキスト資料、今回はありません。ご了承下さい。



# にれ はみ

2022年12月18日  
聖日礼拝  
ルカ2:22~38  
「シメオンの使命」  
説教 渡邊貞雄 師



今日はシメオンが、約束された救い主と出会い、高らかに神に賛歌をささげた出来事です。

## I、メシヤの待望

イスラエルの王と祭司と預言者は、特別に任職の油を注がれ神の民を再建する器として、期待されていました。しかしイスラエルの国が墮落し民がバビロンに補囚されると、この三者を兼ね備えた「神の子」の出現を切望するようになりました。

さらに強国ローマに支配され苦渋をなめると、この「神の子」は政治色を帯びた救い主として待望され「国を再興する者」として期待されました(使徒1:6参照)。しかし神はそのようなメシヤとしてではなく、心の罪を赦し解放する救い主を贈られたのでした。

## II、シメオンの使命

シメオンは「イスラエルが慰められるため」(25)、女預言者アンナは「エルサレムの贖い(救い)を待ち望んでいた」(38)。ついに約束の時が訪れこの2人は、聖霊の感動を覚えてこの世に幼子として来られた聖家族と出会ったのです。その心からの感動と確

信は、深い慰めとなり心からの感謝が湧いてきました。そして彼らはこの幼子を抱き上げて賛美し神を讃えました。ここは有名なシメオンの賛歌(ラテン語/ヌンクディミティス)です。

## III、救い主に出会う

彼らは暗い時代にもかかわらず、約束の神の御子との出会いを待望していました。私たちもこの救い主が私に来て下さり罪の赦しをされたのだとの体験が必要です。この救い主に出会う時に、私たちの人生の課題は解決され、平安と回復が与えられるのです。

シメオンは「今こそあなたは僕をさらせてくださいます」(29)と、感謝の心でこの世を去る顔きを与えられました。この救い主に出会う時、私たちの生き方や生活は、真に新しくされ、満ち足りたものとなるのです。

今、世界が病んでおり、滅びに向かっている時代です。アドベントのこの時に、静かにこのお方と出会い自らの救い主と告白し、御国への約束と喜びに深く感謝を捧げるクリスマスとさせてください。

## 世界のニュース



### ◎米ビリー・グラハム・ライブラリーに韓国名！ 米国の著名な福音伝道

者であるビリー・グラハム牧師を称える記念図書館に韓国のキム・ジャンファン牧師（88）の名前にちなんだ「ビリー・キム・ホール」が建てられた。米ノースカロライナ州シャーロットにあるビリー・グラハム・ライブラリーで12月13日、「ビリー・キム・ホール」の開館式が行われた。

開館式で、フランクリン・グラハム牧師、マイク・ペンス前副大統領とテープカットを行ったキム牧師は「これからもっと熱心に福音を伝えたい。神様にすべての栄光を捧げる」と感想を述べた。

### ◎クリスマス・プレゼントは 質素にと教皇が寄付呼び掛け 教皇フランシスコは12月14日、ク

### ◎12/21（水）祈禱会 ルカ2：6～7 頼子師 「ベストの中に漂う愛」

主は地上に来られたその瞬間、布にくるまれ、飼い葉桶に寝かされました。

ヨセフとマリアは神の語りかけに応じて歩いてきた今の「ここ」（馬小屋）をベストとし、ここにある「それ」（布と飼葉桶）をベストとしました。

与えられた状況の中でよりベストなことを求めて、協力し合い乗り越えました。

リスマスを祝うことは良いことだしながらも、今年はプレゼントの購入を控えて、そのお金をウクライナに寄付するよう呼び掛けた。

教皇は、「私たちの心の中でウクライナの人々とともにクリスマスを迎えよう」と語った。教皇は、ウクライナの人々とともに傷ついていると述べ、寒波や、食料や医薬品の不足に言及、「私たちの心の中でウクライナの人々とともにクリスマスを迎えよう」と語った。

### ◎教皇、辞表に署名済み 職務果たせない場合考慮

教皇フランシスコ（86）が、職務が果たせなくなった場合に備えて、辞表にすでに署名していることがわかった。その報道紙では、教皇に対して、健康問題や事故などによって突然職務を遂行できなくなった場合はどうなるのかについて質問したところ、署名済みの辞表を用意してあると明らかにした。

親は精一杯の手当てをし、子は生涯、神の御旨の中を歩みました。そこに愛の交流が漂います。神との関係、夫婦の関係、親子の関係に。

今のベストの中に漂う、神と人との愛の交流の中を歩もう。



「今後の集会予定／教会情報」

◎1228(水) 定例祈祷会 (PM7:00)  
(ZOOMによる集会)

◎1231(土) 清掃奉仕 (AM9:30)

◎1/1(日) 元旦礼拝 (PM1:30)

◆ 祈祷会(司)お休み(説)お休み

● 来週礼拝 創世記 49:22、他

● 主 題 「乗り越える!」(十)(プラス)

定期集会のご案内

◇ 楽しい組会 (日) 午前10:00~10:45

◇ 聖日礼拝 (日) 午前11:00~12:00

◇ 早天祈祷会 (火土) 朝6:30~7:00

◇ 祈 禱 会 (水) 午後7:00~8:15

来週 の 奉 仕 者

|           |      |
|-----------|------|
| ◎ 礼拝司会    | 中川 兄 |
| ◎ 礼拝奏楽    | 頼子 師 |
| ◎ 礼拝献金    | 山口 姉 |
| ◎ 受 付     | 小坂 姉 |
| ▽ 教会学校    | 随 時  |
| ▽ ヤ ン グ   | 随 時  |
| ▽ ア ハ ン   | な し  |
| ▽ ホ レ ブ   | な し  |
| ▽ 教会ナビ    | 随 時  |
| ▽ 昼食当番    | な し  |
| ▽ アッシャー   | 北村 兄 |
| ▽ S S 入力  | 頼子 師 |
| ▽ P P T操作 | 真理 姉 |

《《《2022年 松阪教会スローガン「一歩前にある恵み!」》》》  
「足の裏で踏む場所はことごとく、すでに…与えている」(ヨシュア1・3)

- 二人の囚人が鉄格子の窓から外を眺めたとき。一人は泥を見た。一人は星を見た。  
-F. ラングブリッジ- (不滅の詩)

- 星を掴むまでの道のりは、小さな一歩一歩の積み重ねである。  
-ジャック・リードストロム-



礼拝の心得

- ① 聖書のヨハネ4:24には以下の様に勧められています。「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」
- ② 始まる時間と、5分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。



- ③ 賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。
- ④ 語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のことばに耳を傾けましょう。
- ⑤ 献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心からの喜びをもっておさげしましょう。
- ⑥ その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。
- ⑦ やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師(教会)に連絡をしましょう。